

水軒公園だより (創刊号)

「水軒の浜に松を植える会」では和歌山市西浜にある昔の水軒の浜に沿った緑地をきれいにし、今はほとんどなくなっている松を植えることによって、美しい風景を取り戻そうと、平成20年(2008年)1月に住民の有志で結成し、これまで、西浜中学校の生徒や地域の皆さんの協力で3000本ほどの松を植えてきました。水軒堤防は見違えるようにきれいになり、最初の頃に植えた松は大きくなり、松林らしくなってきました。遊歩道を散歩する姿も多く見られるようになりました。今年度から和歌山市が水軒公園のあり方の検討を始めます。水軒の浜に松を植える会では計画の進捗を地域の皆さんに報告し、ご意見をいただきたいと考え、「水軒公園だより」発行することにしました。

たより

1. 平成28年2月3日に「水軒堤防協議会」を開催し、県・市・水軒自治会・水軒の浜に松を植える会のメンバーで水軒堤防の史跡としての保存などについて協議しました。200箇所以上あった堤防上の不法構築部の撤去は完了し、国有地の堤防と民有地の境界確定21箇所残すのみとなり、引き続き県の方で確定作業を進めています。水軒堤防を国指定の史跡として認定してもらうために必要なことです。
2. 平成28年2月に第8期の松植樹を行いました。
5日に西浜中学校1年生が176本、7日に和歌山市長ほか地域の皆さんで植樹し、合計300本を新たに植えました。



3. 和歌山市は平成28年度予算に「水軒公園などの整備計画の策定」(内示資料 No.13)として25,000千円の予算を計上しました。水軒公園実現に向けて進みだしました。
4. 平成28年度の第9期の整地と植樹を森づくり基金を活用して引き続き進めます。今年度は南端から150mから400m付近の堤防上を整地し、250本ほど植樹します。



5. 3月18,19日に出雲市で第10回白砂青松再生の会が開催され、当会からも4名が参加しました。全国で松林の再生や保全を行っている人達が100名ほど集まり、活動発表と出雲市周辺海岸の松林の再生活動を見学し、植樹も行いました。また、陸前高田の一本松の枝から苗木を育てた松苗一本を出雲大社に奉納しました。
6. 会では毎週水・土の9時~11時に定例作業を、毎月第4土曜日にクリーン大作戦を行っています(4月23日水軒交差点北)。気軽にいっしょに汗を流しませんか。
7. 水軒の浜に松を植える会の活動は会員の会費、一般の寄付金、和歌山県の森づくり基金助成金で運営しています。助成金には限度があり、すべての費用をまかなうことができません。これまで、会員として会費を納めてくれた人は総数で370名になりますが、昨年度の会費は納入者65名でした。寄付金は約42万円あり、内15万円はドッグランの利用者の寄付金でした。昨年夏までは、整地作業にバックホーを森づくり基金の予算で借りて自分たちでも作業をしていましたが、重機がいたずらされて破損し、借りることができなくなり、業者による委託作業に頼らざるを得なくなりました。このため、予算が不足しています。皆様のさらなるご支援をお願いします。振込み先などお問合せください。(090-9620-7040 奥津)